

公表

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービスくれよん (ひらの)		公表日		令和8年3月2日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		6	0
2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。		6	0	職員の配置数は適切である。		
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		6	0	その都度活動に合わせた環境を整えるように取り組んでいる。車椅子用のスロープ (取り外し式) を採用している。		
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		6	0	児童帰所後の清掃と定期的な消毒をおこなっている。また環境備品の片付け・修繕習慣を設けている。	法人リスク委員会とも密に連携をしながらチェックシート等を用いて振り返り、生活空間をよりよく整えられるように努めていきたい。	
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		6	0	体調・情緒面の不安定な児童用に静養室を設けている。	使用するこどもたちが心地よいと感じられるように静養室の環境を試行錯誤していききたい。また職員の対応や見守りも十分にさらさら安心して感じられるようにしたい。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル (目標設定と振り返り) に、広く職員が参画しているか。		6	0	職員会議の際に、自身の職務の振り返りと児童のケース状況について職員全体で参画して実施している。	職員の働き方も多様化しているため十分に連携や情報共有ができるように反省ノートや朝終礼の方法を再度考えていきたい。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		6	0	少しずつではあるが、いただいた意見を元に取り組みそのような事項を検討し、業務改善に繋げている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		6	0		話しやすい環境や関係については各々の印象や受け取り方もあるため、慎重でありながらも丁寧に考えていきたい。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		0	6		現在は義務ではなく任意ではあるが、第三者による外部評価をおこなうことで課題だけでなく、事業所としての強みも認識できるように感じるため法人内で具体的に検討したい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		6	0	定期的に研修の機会が確保されている。以前と比較して研修の内容や機会等が改善されている。また研修レポートの作成にて振り返りもすぐにおこなうことができている。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		6	0	職員全体で検討の上、適切に支援プログラムを作成し、公表されている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。		6	0	家庭訪問や懇談から各々のニーズの把握に努め、作成に努めている。また細かな確認や振り返りを大切にしている。その都度変更もおこなっている。	保護者とこどもたちのニーズが必ずしも合致しているとは限らず、すり合わせのやりとりについては丁寧に進めていきたい。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		6	0	保護者懇談や他機関との担当者会議等、児童発達支援管理責任者と児童担当職員の参加に努め、実施後に職員全体への情報共有もおこなっている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		6	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		6	0	標準化された検査や尺度に関しては専門機関や病院からの検査結果等を保護者よりいただいている。加えて、事業所独自のアセスメントシートを用いている。やりとりや遊びを通じてこどもたちの気持や特性の把握に努めている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		6	0	不慣れな部分はまだあるが、保護者やこどもたちとのやりとりや聞き取りから必要な項目・目標の設定に努めている。	内容や取り組みについては職員間での振り返りや保護者、こどもたちとのやりとりから各々の課題に応じたより適切で具体的な支援に繋がれるように努めたい。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		6	0	週末の終礼時間に職員全体で立案の時間を確保しており、類似したプログラムにならないように心がけている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。		6	0	事前に週案、必要に応じて月案を作成し、全体での検討確認の上、設定保育や外出等を織り交ぜ、固定化しないようにしている。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	自由遊び（個別）と設定保育（集団）の時間を組み合わせて支援に取り組んでいる。	各年齢層に応じた行事や活動を今後積極的に検討し取り組んでいきたい。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	日課、児童の個別ケースの確認、職員配置等の詳細を職員全体で話し合い日々決めている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	個別ケースに関して、必ず朝礼で振り返りの時間を設けている。また各々の職員自身が支援方法や役割等の振り返りもおこなっている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	法人にて記録方法は標準化されており、各項目にて支援の検証・改善に繋げている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	こどもたちや保護者が取り組みやすい目標の設定を意識している。また年2回以上は適切な見直しをおこなっている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	0		地域交流に関しては検討課題であるため、法人とも十分な検討の上で行事やイベント等の開催や地域の催し事への関心を高くして参加できるように活動を考えたい。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	職員からの声かけだけでなく、児童が自発的に取り組めるように見守る姿勢にも意識をしている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	児童発達支援管理責任者と児童担当職員が必ず参加している。また口頭や書面での情報共有を実施している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	2		連携を意識しているがまだ各機関の方針や制度上の特性より十分とは言えないように感じるため、働きかけるだけでなく、知ってもらえる、関心を引き出すような取り組みを検討したい。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	定期的な連絡会を通して情報共有をおこなっている。	まだ在籍児童の多い特定の学校に留まっているため、どの学校とも連携が図れるように働きかけていきたい。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	3	児童のケース引き継ぎや家庭状況等の情報共有をおこなっている。	情報共有はしているが、共通理解が難しいこともあるため、必要に応じて複数回話し合いの場を設け具体的な支援方法を考えられるように取り組みたい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	0	引き継ぎ会や拡大担当者会議等、支援方法の詳細や家庭状況、児童の課題等を細部まで情報共有できるようにしている。また早い時期から実施し、相談しやすいように取り組んでいる。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	6		助言や研修の機会が少ないため、連携を図り助言を受けやすい関係作りに努めていきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	6		他事業所との交流は時々あるが、地域のこどもと活動する機会が少ないため、積極的な行事・イベントの立案を進めたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	6		現在、障がい児部門の発達に向けて研修を実施している。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	直接面会できるように心がけており、保護者の状況等から難しい場合には電話やLINE等を利用している。また話しやすい関係作りに日々努めている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	6		研修の機会や情報共有等、家族に向けて発信できるように取り組みたい。また、参加しやすい、できる研修について職員も意識することも努めたい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	運営規定や利用者負担等に関しては法人より丁寧な説明の機会を設けている。	事業所の職員も同席して保護者が安心を感じたり、参加しやすい雰囲気作りに努めたい。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	アセスメントや日々の活動や様子から丁寧なやりとりを心がけており、意向を確認する機会を設けている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0		

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	3	今年度初めて保護者会の開催を実施している。	保護者参加型の行事の機会はまだまだ少ないため、企画運営を積極的にしたい。加えて定期的に保護者会を実施し、保護者同士の交流の機会を設けていきたい。きょうだい同士については当事者の意見を十分にくみ取った上で検討できるようにしたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	法人の季刊誌や事業所のおたより、HP等で情報発信や連絡体制を取りやすく取り組んでいる。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	利用前はもちろん、都度書面等で保護者より確認を取りながら、個人情報の取り扱いに留意している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	6		地域行事への参加や招待をすることは少ないため、企画運営を法人全体として検討したい。また季節行事や児童が活躍できるようなイベントも検討したい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	2		周知方法に課題が感じられるため、おたよりやイラスト付きの書面等の工夫を検討したい。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	法人リスク委員会を中心に職員・児童全体で参加しており、その都度振り返りから次回訓練を想定して話し合いを進めている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	保護者よりてんかん発作時の対応を確認している。発作時に関しては速やかな連絡より保護者より指示を仰ぐだけではなく、法人看護師への連絡から状況確認をしている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	事前に保護者より確認を取っており、おやつ提供の際は細心の注意を払っている。	医師の指示書に基づく対応ではなく、保護者からの説明が基本となっているため、適切な形を保護者と検討していきたい。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	0	6		周知に向けて取り組んでいるが、理解度まで把握できていないため、把握に努めたい。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	毎日ヒヤリハットの確認はしている。発生事案の場合には共有して再発防止に向けて話し合いをしている。また、常に法人、事業所間で報連相しやすい環境整備に努めている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	法定研修を実施している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	保護者への事前説明をおこない、十分理解を得られてから利用開始をおこなっている。	